

令和6年度笛吹市社会教育委員の会議兼公民館運営審議会
委嘱状交付式及び第1回会議 会議録

日 時：令和6年6月5日（水） 午後1時30分～午後3時30分

場 所：笛吹市役所本館 3階 301会議室

出席者：◇社会教育委員（敬称略）

秋田和博、石田史明、須田徹、廣瀬志保、内田勝也、加々美恭子
金子津多恵、中楯文仁、石倉絹子、小林千澄、中村拓

◇教育委員会

望月教育長、太田教育部長、角田文化財課長、松本図書館長

◇事務局

荻原生涯学習課長、生涯学習担当 河西リーダー、日下、角田

欠席委員（敬称略）：生原忠昌、渡邊真史、山口隆夫、原百枝

【進行：生涯学習課長】

次第1 開会のことば

次第2 委嘱状交付

次第3 教育長あいさつ

<教育長>

皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中、御出席をいただきありがとうございます。皆様方には、日頃から笛吹市の社会教育、生涯学習の充実に向け、お力添えいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。只今、委嘱状を交付させていただきました。今年度から笛吹市社会教育委員及び笛吹市公民館運営審議会委員になられた方をはじめ、昨年度から委員の方には、それぞれでの分野で幅広い知識と経験で、本市の社会教育、生涯学習の振興のために、今年度も御経験とお知恵をいただきますようにどうぞよろしく申し上げます。さて、近年の社会教育を取り巻く環境は、スマートフォンの普及に伴う情報化の進展、家族形態や就労形態の多様化による地域のつながりの希薄化など大きく変化しています。

このような社会情勢の変化を踏まえ、令和5年3月に『学びあい 支えあい 高めあう地域』を基本理念とし、「第三次笛吹市社会教育計画」を策定しました。現在、この基本理念の実現に向けて第二次笛吹市総合計画において関連する「未来

を担う青少年を育む環境づくり」「人生を彩る生涯学習の推進」「地域文化の普及と活用への取組の推進」の3つの方向性ごとに取組を進めているところです。皆様方には、社会教育の円滑な推進のために、市民の代表としての御提言や御支援を賜りますよう、お願い申し上げます、改めて挨拶といたします。委員の皆様には、一年間よろしくお願ひいたします。

次第4 委員自己紹介・職員紹介

次第5 会議録署名委員の指名について

笛吹市社会教育委員会会議運営規則第4条第2項に基づき、石倉議長から中村拡氏が会議録署名委員に指名された。

次第6 (1)令和6年度事業について

図書館から説明後、質疑応答を行い原案どおり進めることとした。

【質問意見等】

<委員> 図書館の行事活動の中で、小学校2年生の町たんけん図書館見学、中学校の職場体験、保育園・小学校へ出向いてのおはなし会と読書会がとても良い活動である。これからも積極的に取り組んでいただきたい。あと一つ、図書館で辻村深月氏の特設コーナーがあり、笛吹市を代表する作家の1人であるので、図書館行事活動の中に辻村氏本人が来て、お話をしてくれるとか、辻村氏を学ぶ会などのイベントがあれば、第2の辻村氏のような作家が笛吹市から誕生すると思う。検討をしてもらいたい。

<委員> 町たんけん図書館見学は、学校ごとに図書館に訪問しているのか。

<図書館長> 学校ごとに、各図書館に申し込みがあり見学に来てもらっている。

生涯学習課から説明後、質疑応答を行い、原案どおり進めることとした。

【質問意見等】

- <委員> 青少年育成推進協議会の運営について、私の行政区は、育成会役員や子どもクラブの指導員の大半は高齢者である。地元の小中学生の子どもがいないことや、今のご時世、行政区の組に入らない世帯があり、子どもがいる世帯でも子どもクラブに加入しないことがある。青少年育成活動計画については、良い取組みだと思うが、私の行政区のように高齢の役員が子どもの指導するのは、かなり負担がかかる。青推協会長も地区の順番でまわってくるが、地域の実情を踏まえて検討してもらいたい。
- <委員> フッキー体験塾で、チラシを配布して申込みがあると思うが、資料に親子 24 組と書いてあるところと小学生だけの参加と、小学生と保護者と書いてあるところがある。この親子というのは親子で募集をしていることなのか。詳細を教えてください。
- <事務局> 親子と書いてあるところについては、親子で募集をかけている。小学生と保護者が分けているところは、低学年では保護者同伴の参加を必須とするものと、高学年では保護者同伴の参加を可能とするものなど、内容により異なる募集を行っている。
- <委員> 安全面で様々なところで配慮するところがあると思うが、関心の高い保護者だと同伴したり、関心があっても時間がなければ参加もできなくなったりするので、子ども達の送迎だけで済むような講座もあつたら良いと思う。
- <委員> 俳句会は、たくさんの人に応募してほしいとあるが、昨日、高校の校長会があり、その時に甲府市役所の方が甲府市主催短歌大会の宣伝活動をしていた。笛吹市は小中学生を対象で、高校生は対象外であることを再認識した。俳句会は本当に素晴らしい文化の一つだと思う。何か、小中学生向けに簡単な俳句講習会や生徒たちが俳句に親しむ行事を計画しているこ

とがあったら教えてもらいたい。

<事務局> 生涯学習課では、市内の小中学校を対象に俳句の出前授業を実施している。授業を希望する学校から要望を出してもらい、市の文化協会俳句部の方に講師として協力してもらい、学校に派遣している。

<委員> 昨年度は何校で実施したか教えてもらえるか。

<事務局> 昨年度は小中学校合わせて8校で実施した。

<委員> 市民講座について、個人の楽しみと市民のためとして認識しているが、前回の会議で他にもボランティアの育成や新たな講座に取り組むべきと申ししたが、何か動きがあったか聞かせてもらいたい。

<事務局> 昨年度にスコレー大学「大人の探求学習～笛吹市を知ろう～」を実施した中で受講者の中から自主的に活動するグループが立ち上がり、笛吹市のためにできることを研究し続けることとなった。1つの団体の活動例としては、ふえふきマルシェの中で何か事業をやってみようなど前向きに笛吹市の地域活力向上のための活動を考えてくれている。今後もボランティア団体などに派生できるよう市民講座やスコレー大学の企画に取り組んでいく。

<委員> 各市町村の行政では、様々な部署でボランティア活動の事業をしているが、私はフレイルサポーターの養成講座について、担当部署へ話をして生涯学習課で取り上げてもらいたいことを話した。ボランティア活動を必要としている部署があると思うので、部署間で連携して情報共有することに取り組んでもらいたい。

<事務局> 参考にする。

<委員> 前回の会議で笛吹高等学校との講座開設について、本日、本校の教員から話があったが、日時や場所、教員の引率のこと

など、様々なことを考える必要があると思っている。現代の高校生は、パソコンやスマートフォンの使い方が上手であるので、例えばパソコンやスマートフォンに関する講座を開設するなど講座の候補を考えてみた。しかし、そのような講座で大丈夫なのか、本当に需要があるのか、また、学校の授業時間帯に講座を開催してくれるのか質問をしてもよいか。

<事務局> 笛吹高等学校との講座については、まだ検討段階の中で、学校に相談をした。開催時期については、これまで土日だけではなく、例えば、授業時間に当たる平日、日中の時間でも開催している。年齢も幅広く参加してくれる事業なので、平日・休日問わず需要はあると考えている。

事務局の文化財課からの説明後、質疑応答を行い、原案どおり進めることとした。

【質問意見等】

<委員> 「写真で見る 20 年の変化展」は今どのくらい応募が集まっているのか。

<文化財課長> 個人の方からいただいているのは、6、7 点程度である。

<委員> 写真は、建物の変遷が多いのか。

<文化財課長> 写真は旧町村時代に作成された広報紙からも選んだりするが、人物は肖像権があるのでなかなか難しい。主に風景などを選定しているが、例えば、校舎や学校のグラウンドで、子どもたちや生徒が活動している風景があれば良いと思う。

<委員> 学校の話があったので、いくつかの学校が新庁舎になったりしているので、学んでいる子どもたちの様子を、学校に働きかけると写真が出てくると思う。最終的に写真が何件くらい集まれば良いか。

<文化財課長> 全体で 200 点ぐらいを予定している。パネルの大きさもあるが、多ければありがたい。最低でも 100 点ぐらいは必要であ

る。

<委員> 写真展について、パネル展示するということであるが、資料を見たとき石和の駅がとても懐かしくて、パネルだけでは、勿体ないと感じる。見に行けない方もいるので、例えば広報に掲載することは考えているのか。

<文化財課長> 検討する。

<委員> 20年前の笛吹市合併前と現在で、2枚を1組の応募要件がとてもハードルが高いと感じる。募集が始まっているところで、実際、あまり集まってないということを考えると、例えば合併前の小中学校校舎の写真であれば、当時のことを振り返れるし、学校側も協力できると思う。応募要件を写真1枚に緩和した方が、昔の写真が集まると思う。

<文化財課長> 過去の写真があれば、現在の様子を我々が現場に行って写真に収めることが可能だと思う。
ホームページで募集要件を変更することを検討していく。

次第6(2)山梨県各協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行ったが、質問等がなかったため、報告内容について了解を得た。

次第6(3)その他について

事務局からの令和6年度社会教育指導者研修について説明後、質疑応答を行ったが、質問等がなかったため、報告内容について了解を得た。
その他について質疑応答を行った。

【質問意見等】

<委員> 文化財課に関連した話になるが、春日居町の芍薬塚が以前は、雑草が生えたり表札が朽ちたりしてあまり良い状況ではなかったため、改善を求めたところ、綺麗に整備されていたので、

とても感謝している。他にも老朽化している文化財の看板があるので修繕してもらいたい。

もう一つ、文化財に関連する話だが、昔は旧町村が文化財や史跡を紹介する冊子や広報紙に掲載があったので、周知する価値はあると思うので検討してもらいたい。

<文化財課長> 看板の修繕については、複数あるので、破損や文字が薄くなっている看板は、順次対応している。
史跡や文化財の周知については、過去に広報紙に掲載していたが、紙面の都合上もあるので、広報担当と調整しながら特集コーナーが設けられるように検討していく。
ホームページに史跡や文化財の最新情報を随時、掲載しているので見てもらいたい。

<委 員> 私もホームページを見るようにしているが、ホームページの電子媒体と広報紙による紙媒体の両方で史跡や文化財の周知を実施してもらいたい。

<委 員> 釈迦堂博物館の展示品について、個人的な感想になるが、工夫を凝らして、単純に飾っているだけでなく、展示品の魅力を伝えるためのわかりやすい解説もある。作品の雰囲気や思いが伝わってくる感じがする。

<文化財課長> 出来るだけ来館した方に、満足する解説や展示を心がけている。釈迦堂博物館は、施設を新しく整備して、イベントや特別展の開催を行っている。展示品の入れ替えを定期的に行っているなので、是非、足を運んで見ていただきたい。

次第7 閉会のことば